



新星

Shinsei
2020 Vol.35

2020年8月22日 発行

医療法人 厚生会 道ノ尾病院「新星」Shinsei編集部
〒852-8055 長崎市虹が丘町1番1号
TEL 095-856-1111 FAX 095-856-4755

題字：松本 寿美子



CONTENTS

- 2 道ノ尾病院・虹が丘病院合同 摂食・嚥下の勉強会
- 3 訪問リハビリとは？
- 4 デイケア 6つのグループ紹介
- 5 新人研修委員会 ～入社してから精神科看護師としての研修内容～
- 7 初めて受診したい方へ地域連携室の紹介
- 8 宿泊自立訓練事業所ふれあいとは？

基本理念 患者第一主義

基本方針

- 挨拶と笑顔をもって皆様（患者・家族）に接します
- 疾病や治療に対して十分な説明と同意に基づき、患者本位の医療を提供します
- 患者の権利を認識し、尊重します
- 地域における責務を認識し、開かれた病院を目指します
- 職員研修を行い、常に研鑽に努めます
- 健全な病院経営に努めます
- 患者の社会復帰に努めます

摂食・嚥下障害について 歯科衛生士の立場から

摂食嚥下リハビリテーション認定歯科衛生士 小嶺 京子

摂食・嚥下障害とは



食後の咳

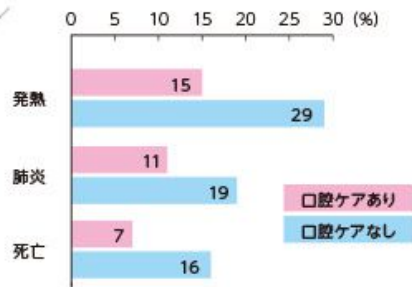
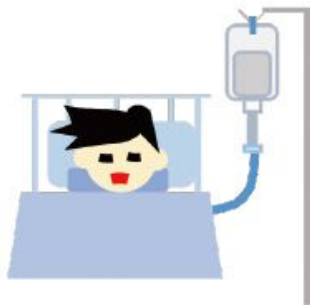
胸のつかえ

食べ物を見てから口に入れて噛んで飲み込む一連の動作を摂食・嚥下といいます。健康な人にとって食べたり飲んだりすることは普段意識しないことができることです。病気や老化などで物を飲み込みにくい状態になったり飲み込めても肺の方へ入ってしまうことがあります。これを摂食・嚥下障害といいます。

摂食・嚥下障害になると栄養が吸収されないため栄養失調をおこしたり誤嚥性肺炎などの呼吸器の病気にかかりやすくなります。食事の後、咳が出る、水を飲んだら声が枯れる、食事中に疲れやすい、胸につかえるなどの症状があらわれます。

誤嚥性肺炎

日本人の65歳以上の高齢者の死因の第3位が肺炎でその中でもほとんどが誤嚥性肺炎であると言われていています。高齢のため飲み込む能力が衰えたところにお口の中の汚れや虫歯や歯周病が原因で繁殖した細菌が飲食物と共に肺や気管支に入って発症します。



口腔ケアを行ったグループは行わなかったグループに比べ発熱、肺炎、死亡率が低くこれらの予防には口腔ケアが有効であるということがわかります。米山武義、吉田光由ほか要介護高齢者に対する口腔衛生の誤嚥性肺炎予防効果に関する研究、日医学会誌、20：58-68、2001

摂食・嚥下障害に対する歯科衛生士としての取り組み

病棟から患者様の口腔内や食事に関する事で相談があれば病室へ直接うかがい歯科領域の治療に関することであれば歯科へ連絡をとります。食べこぼしやムセ込など今までにみられない症状で食事量が減ったりするようなことがあれば食事風景を観察にうかがいます。食事形態の見直し、食事の時の姿勢の改善、薬剤による影響がないかなど様々な問題を多職種で話し合いその場で解決できることからはじめます。□（食べるため）の機能が低下している人には口腔ケア、アイスマッサージにうかがい病棟の看護師と一緒に改善していく様子を見守っていきます。専門的な摂食・嚥下リハビリが必要な時は嚥下造影検査を行うようにしていきます。

道ノ尾病院・虹が丘病院合同摂食・嚥下の勉強会

平成27年4月より始まった「摂食・嚥下の勉強会」は今年で6年目を迎えることになりましたが新型コロナウイルスの影響で中止といたしました。1年を通して摂食・嚥下障害のことを理解して予防に取り組んでいただければという思いで5～6名の多職種で講演をしておりました。今年はこの紙面をお借りしてお話をさせていただきます。

過去5年間で医師、看護師、薬剤師、栄養士、OT、PT、ST、介護福祉士、精神保健福祉士、歯科衛生士の多職種のべ37名の講師の皆様から講演をしていただきました。特に摂食・嚥下障害を患った患者様を講師に招きインタビュー形式で自覚症状から嚥下造影検査、リハビリの様子、食事制限などをふりかえりお話しをしていただく会は検査の時の緊張した気持ちやリハビリの大変さや食べたいものが食べられない時のさみしさなど話していただき医療に携わる者として患者様の心に寄り添っていたのか反省したり病気を克服した人と喜びを分かち合ったりと反響の大きい講演となりました



道ノ尾病院 訪問リハビリの紹介

当院の訪問リハビリは、開始して今年で7年目になり作業療法士、理学療法士が院内業務を行いながら従事しております。

開始当初は、少数の作業療法士、理学療法士で少数の利用者様を支援する形でしたが現在では従事するスタッフ、利用者様も増えてきております。

訪問リハビリは、自宅に居ながらリハビリを受けることができ「自分に合った曜日や時間を選びやすい」、「自宅での生活に合ったリハビリが受けられる」等の特徴があります。

これに加えて、当院の訪問リハビリは、認知症のある方や精神疾患のある方への支援が出来るということも特徴の一つとなります。

私たちのモットーは、住み慣れた地域で暮らし続けるために、生活の安心と快適を提供することです。

そのために、心と身体の機能改善、上手な動作の獲得、上手な介護のアドバイス等を行い活動的な生活を目指します。また、道具や住宅の工夫を通して住みやすい環境づくり、充実した生活を送るために外出の練習なども行います。

当院の訪問リハビリを利用される場合は、まずは担当のケアマネージャーにご相談ください。その後、スケジュールの調整、訪問リハビリの指示、訪問リハビリの契約等を経て訪問リハビリが開始となります。詳しくは、下の「道ノ尾病院の訪問リハビリを受けるには」をご覧ください。

道の尾病院の訪問リハビリを受けるには

①



訪問リハビリを受けたい・・・

まずは、ケアマネージャーにご相談してください。

申し込みなどの手続きは担当のケアマネージャーが行います。



訪問曜日・時間の調整をケアマネージャーが行い、提供可能かを確認します。

②

かかりつけ医師がいる場合は・・・

診療情報提供書（紹介状）を書いて道ノ尾病院へ郵送していただくようお願いしてください。



かかりつけ医師がいない場合は・・・

道ノ尾病院外来へ受診してください。

予約制 訪問リハビリ希望で初めて受診したいとお伝えください。

☎095-856-1111
道ノ尾病院 地域連携室



道ノ尾病院の医師から訪問リハビリの指示が出る

③



訪問リハビリ開始

初回に「サービス担当者会議」に参加していただきますようお願いいたします。ご本人・ご家族・リハビリ担当者・ケアマネージャーと一緒に集まってリハビリの目標について話し合いを行います。

デイケアに参加したい・興味がある方へ

デイケアは、外来での精神科リハビリテーションの一つで、①精神症状の治療の場、②社会復帰を目指す場、③癒しの場、を主な目的としています。当院デイケアも、「安心して通所できる治療環境を提供し、生活技能を高める援助を行い、利用者の地域生活の支援に努める」ことを理念としており、そのため、働くスタッフの職種も医師、看護師、臨床心理士、精神保健福祉士、作業療法士、管理栄養士など精神医療保健福祉にまたがるように構成されています。

当院デイケアは、一日平均およそ100名が利用しています。利用者の年齢は20代から80代まで幅広く、利用者の抱える疾患も様々です。「人づきあいが上手になりたい」「また働けるようになりたい」「安心して過ごせる居場所がほしい」などの利用者の様々な希望に沿って、6つのグループに分かれて活動を行っています（下図）。うつ病の方の職場復帰支援プログラム、ADHDの方を対象とした集団プログラム、アルコール症回復支援、など個別性の高い支援も備えております。

当院デイケアでの1日の流れを載せておりますが（右上図）、花見や菖蒲見物、1泊研修旅行、クリスマス会などイベント的なプログラムもあります。時に、利用者には何らかの役割が任されるなど、活動を通じた達成感、自信の回復なども大事にしています。デイナイトケアを利用すれば、昼食から夕食まで規則正しい食事を摂れますので、老いも若きも気になる栄養バランスの是正になりますし、単身で病気を抱えながら寂しい思いをしている利用者にとっては、あたたかい夕食を皆と楽しく食べることは、前向きに生きる意欲を与えてくれるのではないのでしょうか。

現在、デイケア利用にあたっては、主治医の許可を前提として、見学、体験利用、当院医師の指示を経て、サービス利用を決定しています（右下図）。利用者に当院デイケアの機能、規則や注意事項を説明し、利用目的について話し合います。きっと笑顔が素敵なスタッフが出迎えてくれるはずです。ご興味のある方は『道ノ尾病院デイケア』までお問い合わせください。

デイケアのグループ紹介

＊新規定着支援グループ（わかばグループ）

デイケアを初めて利用される方にプログラムを通してデイケアに慣れ、目的を持って楽しく利用して頂き、自分らしい生活が送れるようお手伝いします。

＊就労支援グループ（にじグループ）

就労への第一歩を歩み出したい方をサポートします。病状管理やコミュニケーションのスキルを高め、就労に必要な基礎的能力を身につけることを目指します。

＊地域安定支援グループ（1グループ）

長くデイケアを利用している方が多く、地域で安定した生活が送れるよう支援を致します。活動は自主性を大事にしており、自由な環境の中で実施しています。

＊復職支援グループ（STEP）

うつ病で休職中の方を対象とした、職場復帰準備プログラムと、ADHDの方を対象とした集団プログラムを行っています。

＊生活支援グループ（2グループ）

健康で生活をより豊かに毎日楽しく過ごすことをモットーにしているグループです。自立した生活が送れるよう、活動は生活支援や体操を中心に行っています。


＊アルコール症回復支援グループ（5グループ）

同じ苦しみを持つ仲間とアルコール依存症からの回復を目指しています。同じ体験を持つ仲間だからこそ分かり合えます。

※認知症以外の全般的な方対象です



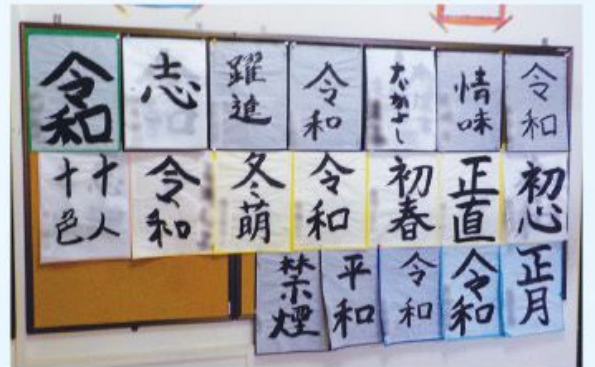
1日の流れ

8:45	朝のつどい	デイケア	デイナイトケア	午前 ショートケア	午後 ショートケア	ナイト ショートケア	
10:00	ミーティング						
10:30	プログラム						
12:00	昼食						
13:30	プログラム						
14:30	昼のつどい						
16:00	ミーティング						
16:30	プログラム						
17:30	夕食						
18:45	終了						

※ミーティングや活動時間以外は休憩室などもありますので、休むことができます。
 ※ショートケアの利用にあたっては、利用の規約がありますのでご相談下さい。



ご利用までの流れ



※利用相談の窓口

利用については、まず**主治医**へご相談ください。相談の際に「日中に過ごす居場所が欲しい」や「職場復帰をしたい」など利用の目的についてお話しいただくとスムーズです。
 当院がかかりつけ医でない方については、まずはかかりつけ医の主治医へご相談いただいた上でご相談ください。



New employee training committee

新人研修委員会

スタッフ

責任者：宇都口師長 (C-5)

担当者：岩永主任(C-5) 丸山主任(C-4) 松下(B-2) 山田(C-3) 川口(B-1)

目的・実施内容

- 当院の理念や方針、業務内容を理解していただき、当院での一職員としての自覚を身につける
- 経験、未経験に関わらず新人スタッフへの研修が滞りなく行われるように準備、整備する。
- プリセプター、プリセプティー関連会議、グループワークを実施
 - 同期との交流をはかり、抱えている悩みなどを共有し離職防止につなげる。
 - 新人に対する共育やフォローが充実できるようにする。

フォローアップ研修 I

入社3ヵ月
グループワーク実施

研修

新人研修

理事長、医師、部署長が
講師として実施

フォローアップ研修 II

入社12ヶ月
グループワーク



精神科看護師として自立

プリセプターとは？

→ある一定期間、1人の新人看護師に対してマンツーマンで関わる先輩看護師。当院ではプリセプターが精神的なフォローを行ない、全スタッフで業務の指導を行っている。

新人さんによくある悩み

→精神科特有で業務や対応の仕方が教えるスタッフで違いがあり、どうしたらいいかわからなくなるときがある。新人スタッフには先輩それぞれのいいところを吸収しながら自分のものにしていくように指導している。

委員会からのコメント

→新人への支援をプリセプターだけではなく各病棟師長、その他スタッフがサポートできるようにプリセプター制度の理解や協力をお願いしています。新人スタッフは勤務自体が初めての方や他の医療機関で経験がある方などさまざまです。安心して仕事ができる環境が一番大事と考えていますので、そのような職場作りを目指して取り組んでいます。





はじめての受診を希望される方へ 地域連携室の紹介

地域連携室では、地域の様々な保健・福祉サービス機関との連携窓口として、患者様に切れ目のない医療・看護・介護サービスが提供できるように支援・調整を行っています。

相談は無料で、相談内容については**秘密を厳守**いたします。

地域連携室は、以下のような窓口として対応しております。

新規受診・入院・転院に関する相談

新規受診や入院、転院は「**予約制**」となっております。

受診を希望される方は「初めての受診相談です」とお話しくださいればスムーズです。

受付の流れは以下の通りです。

①相談員がお話を伺います

②相談員が医師に相談します

③相談者へお返事差し上げます

④予約日時に来院をお願いします

よりよい医療の提供のために相談員がお話を伺う際、**お困りの症状**や**治療歴等**についてお伺いします。かかりつけの医療機関がある場合はなるべく**紹介状**や**お薬手帳**(その他処方内容がわかるもの)を持参していただくようお願いしています。

ご本人の身近な方からの情報や受診の付き添いがあれば診察がスムーズです。



もの忘れ外来、大人のADHD専門外来に関する相談

地域連携室では大人のADHD専門外来・もの忘れ外来の相談を受け付けています。

大人のADHD専門外来

『**予約制**』となっております。

ご相談の際は「ADHD専門外来の予約を」とお伝えください。

18歳以上対象です

第1水曜：午前
第2月曜：午後
第3水曜：午前
第4月曜：午後

保険証(必須)
母子手帳
学校の通知表

診察前に現在の状態を知るために問診票などを用い、お話を伺わせていただきます。

診断には数回の受診が必要です。

もの忘れ外来

認知症に関する相談をお受けし、専門的な検査、診断、治療などを行います。

「最近忘れっぽくなった」「繰り返し同じことを尋ねるようになった」など、ご心配なことがございましたらお気軽にご相談ください。



火曜：午後
水曜：午後
木曜：午後

保険証(必須)
紹介状
お薬手帳

本人の状態をみて以下のような検査をします。
頭部CT、MRI、認知機能検査など

『**予約制**』となっております。

ご相談の際は、「もの忘れ外来の予約を」とお伝えください。

受診の際は、複数の方のお付き添いがあれば、検査や診察がよりスムーズです。

○地域連携室からコメント

ご家族や地域医療機関の先生方など毎日多くの方々からご相談が寄せられています。

お困りの内容をお伺いし、医師への橋渡しを行いながら受診予約や治療の流れがスムーズになるよう対応させていただきます。お気軽にご相談ください。

地域連携室 TEL：095-856-1111(代表)
電話受付時間(月)～(土) 9：00～16：00



//// //// 宿泊自立訓練事業所ふれあいとは? //// ////

ふれあいは…

地域生活が困難な方、不安がある人たちに住まいの場所を提供して料理、清掃、お金の管理など、地域で暮らす上での生活訓練と体験を行い、一緒に自立を支援する施設です。



ふれあい 利用 対象者

知的障がい・精神障がいを持たれた方
18歳以上の方
自立訓練を通じて生活の自立を目指している方

利 用 料	
1.2階	3階
(トイレ、風呂共同、自室にエアコン、洗面所あり)	(ユニットバス、自室にエアコン、IHキッチン付き)
家賃 24000円	家賃 30000円
食費 朝 205円 昼 410円 夕 410円	食費 朝 205円 昼 410円 夕 410円
水道 月額200円 電気代 使用量に応じて	水道・ガス・電気代 使用量に応じて

ふれあいの 匠の紹介

「掃除や洗濯が面倒…」

掃除・洗濯の匠

「貯金したいけど、お金を使いすぎちゃう…」

お金のやり繰り、貯金の匠



「薬を忘れてしまうし自己管理に自信がない…」

病気やお薬管理の匠

「アパート?探し方がわからない…」

引っ越しの匠

ふれあいにはたくさんの匠がいます。

2年間の期限の中で、「できない不安」を「できる喜び」にあなたの“できる”をお手伝いします。

例えば・・・自宅ではできなかったことが、ふれあいでも生活し訓練することで、一人暮らしにも自信が付き地域での生活（アパートなど）をすることができます。

ふれあいの見学など随時受付していますので、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

095-814-6200



©2018 VVN

道ノ尾病院はV・ファーレン長崎を応援しています



医療法人厚生会

- 道ノ尾病院 ○虹が丘病院
- みちのおメンタルクリニック
- 宿泊型自立訓練事業所 ふれあい
- 就労継続支援B型・就労移行 ワークステーションかいこう
- 訪問看護ステーション すみ香
- ヘルパーステーション にじいろ
- 相談支援事業所 にじいろ ○居宅支援事業所 にじいろ
- れいんぼうハウス滑石 ○住宅型有料老人ホーム ほの香

社会福祉法人新生会

- 特別養護老人ホーム 望星荘
- 障害者支援施設 虹が丘学園

【医療法人厚生会 道ノ尾病院ホームページ】

<https://www.michino.or.jp>

道ノ尾病院

検索



モバイルの方



スマートフォンの方



パソコン・スマートフォン向け

道ノ尾病院 新着情報通知のお知らせ

道ノ尾病院HP上に出るポップアップを通知許可していただくと以降、新着更新情報をプッシュ通知で受け取ることが出来ます！

パソコンやアンドロイド端末はアプリ不要で直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。

※iOS端末(iPhone・iPad)は「みんなのお知らせ」アプリをインストールし、お知らせ通知を許可するだけで以降、直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。



通知許可ボタン表示